

<英米語学科>

英米語学科では、以下の能力と資質を身につけることを目的として編成された教育課程において、定められた卒業要件単位を取得した場合に、卒業を認定し、学位を授与する。本学科は、これらの能力を身につけ、専攻言語圏の歴史や文化や、社会に関する知識をもとに他者を深く理解し、実践的な言語運用能力を駆使し国際社会に貢献し得る自立した人材を育成することを目的とする。

<p>(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」</p> <p>①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー</p> <p>②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養</p>	
<p>(2)高度な英語の運用能力</p> <p>①幅広い教養及び批判的思考力を身につけた上で、それを英語で総合的(読む・聞く・話す・書く)に運用できる力</p> <p>②言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の英語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。</p> <p>・卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B2レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同C1レベル相当以上に到達することを目標とする。</p> <p>・各技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。</p>	
<p>(3)「言語そのものに対する深い洞察及び英語圏の歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」</p> <p>①英語、日本語に関する言語学的な知見を学び、両言語の共通性と多様性を多面的に考察する力</p> <p>②英語、日本語に関する言語学的な知見を学び、それを英語学習・英語教育に活用する力</p> <p>③英語圏各国の歴史・文化・社会の特質を理解し、国際社会が直面する諸問題を考察し、解決に向けて行動する力</p>	
<p>(4)「グローバル社会の一員として世界に貢献するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」</p> <p>①民主主義社会を生きる「成熟した市民」として、他者との対話を大切にしながら地域、社会、世界と主体的に関わる力</p> <p>②批判的思考力の手順を身につけ、それを活用する力</p> <p>③個々の情報を引き出す力に加え、個々の情報のなかに関連性を見つけ出し、それらを有機的に結びつけて合理的知見を生み出す力</p>	

(別表)技能別語学到達目標

		英語
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> 様々な学術分野の専門的な内容を扱うまとまった分量のテキストを読み、理解することができる。 新聞を読み、その内容を理解することができる。
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> 様々な学術分野の専門的な内容を扱う講義や口頭発表を理解することができる。 ニュース番組やテレビ番組、映画などの様々なジャンルの内容を理解することができる。
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ディスカッションでは、専門的な内容について、自分の考えと他者の考えを関連づけつつ、積極的に意見交換をすることができる。 社会上、学問上、職業上の目的、及び言語使用場面に応じて、効果的な話し方でやり取りができる。
	発表	<ul style="list-style-type: none"> 様々な学術分野の専門的な内容について、文献・データ・証拠に基づいて説得力があり筋道だったプレゼンテーションやスピーチができる。
書く		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな学術分野の専門的な内容について、重要な点を強調しつつ、補助的事項・理由・関連する事例を詳細に加えながら説得力のある議論を展開して結論をまとめ、アカデミック・エッセイやリサーチ・ペーパーを書くことができる。 文章を構成する際に必要となる、文法、語彙、論理的つながりを示す表現などを効果的に使用してまとまりのある文章を書くことができる。
検定等		<ul style="list-style-type: none"> TOEFL ITP 550点以上を目指す TOEFL iBT 80点以上を目指す 実用英語技能検定 1級を目指す TOEIC®L&R 800点以上を目指す CEFR B2-C1レベル相当以上

<アジア言語学科>

アジア言語学科では、以下の能力と資質を身につけることを目的として編成された教育課程において、定められた卒業要件単位を取得した場合に、卒業を認定し、学位を授与する。本学科は、これらの能力を身につけ、専攻言語圏の歴史や文化や、社会に関する知識をもとに他者を深く理解し、実践的な言語運用能力を駆使し国際社会に貢献し得る自立した人材を育成することを目的とする。

(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」

①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー

②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

(2)専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力

①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力

②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力

③各専攻における言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の外国語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。

<中国語、韓国語>

卒業までに全員が CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B2 レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同 C1 レベル相当に到達することを目標とする。

<インドネシア語、ベトナム語、タイ語>

卒業までに全員が CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1 レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同 B2 レベル相当に到達することを目標とする。

<英語(全専攻共通)>

卒業までに CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1 レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同 B2 レベル相当以上に到達することを目標とする。

各専攻言語の技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。

(3)「専攻語及び専攻語圏をはじめとするアジアの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」

①専攻言語が使用される国・地域における歴史、文化、社会、政治、経済の特質を理解するとともに、アジアのダイナミズムに目を向け、広い視野で共生のあり方を考察する力

②アジアの多様性に対する理解を深め、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力

(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」

①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力

②探求心を持ち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力

③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力

(別表)技能別語学到達目標

<中国語専攻>

中国語		
理解 する	読む	・新聞・雑誌や文学作品などを読み、大意を理解することができる。 ・図表や説明文などを読み、必要な情報を得たり、概要や要点を理解することができる。
	聞く	・具体的な話題のやや複雑なテキストや、抽象的な話題について、主要な内容を聞き取り、理解することができる。 ・映画やテレビドラマの内容を聞き取り、おおよそ理解することができる。
話す	やり取り	・自分が想定していない状況においても、相手の協力を得られれば、ある程度創造的なやり取りができる。
	発表	・自分の身の回りのことや関心のあることについて、事前に準備をすればスムーズにプレゼンテーションやスピーチができる。
書く	・自分の身の回りのことや関心のあることについて、ある程度まとまった文章を書くことができる。 ・さまざまな事象について多面的、かつより正確で適切に書くことができる。	
検定等	HSK 筆記 5 級・口頭試験高級を目指す CEFR B2-C1 レベル相当	

<韓国語専攻>

韓国語		
理解 する	読む	・新聞記事など漢字語の多いテキストを自由に読み、理解することができる。 ・辞書を用いることで、小説など、表現の複雑な文学的文章を読み、理解することができる。
	聞く	・ニュースや演説などの時事的で、社会的に高度な話題をおおよそ理解することができる。 ・映画やテレビドラマにおける、多彩で口語的な表現を聞き取り、おおよそ理解することができる。
話す	やり取り	・話の場面に応じた適切な文体を用いて、公式的で抽象的な話題から、私的で日常的な話題についてのやり取りができる。
	発表	・公的もしくは学術的な場面において、高度な内容のプレゼンテーションやスピーチができる。
書く	・書きことばにみられるフォーマルな文章や、メッセージ性を持った硬い文章を書くことができる。 ・話しことばにみられるインフォーマルな文章や、メールや SNS など形式に則らない文章まで自由に書くことができる。	
検定等	「ハングル」能力検定試験 2 級、韓国語能力試験(TOPIK)5~6 級を目指す CEFR B2-C1 レベル相当	

<インドネシア語専攻>

インドネシア語		
理解 する	読む	・ある程度高度な内容の原文の読み物を、辞書なしで読むことができる ・自分に必要な文献や資料などを探し出し、それらの内容の比較ができる。
	聞く	・インドネシアで放送されているテレビなどの内容を、おおよそ理解できる。 ・会議や会話の中で相手(話し手)の意図を正確に理解して対応できる。
話す	やり取り	・授業外の環境でも自分の意思を正確に伝えられ、相手の話す内容についても理解し、反応できる。
	発表	・プレゼンテーションや会議の場で、自分の意見を順序立てて正確な発音と文法で伝えられる。
書く	・公式文書(高度な文章)を書くことができる。 ・求められる内容や状況に応じて使い分けことが出来る。	
検定等	インドネシア語技能検定試験B級以上を目指す CEFR B1-B2 レベル相当	

<ベトナム語専攻>

		ベトナム語
理解する	読む	・簡単な論説、記事を読むことができる。 ・辞書を引きながら、詩やエッセーなど文学作品を味わうことができる。
	聞く	・ニュースを聞き、ある程度理解できる。映画の内容をおおよそ理解することができる。 ・大学の講義の内容を聞き取ることができ、理解することができる。
話す	やり取り	・自身の意見や意思を、自然体で話すことができる。 ・日常生活を離れたテーマについても高度な会話表現ができる。
	発表	・あるテーマについて筋道の立った発表・プレゼンテーションを行うことができる。
書く		・内容豊かで高度な文章表現ができる。 ・テーマに沿った短い論説(1,000 字程度)を書くことができる。
検定等		ivPT(国際ベトナム語能力試験)B2 以上を目指す CEFR B1-B2 レベル相当

<タイ語専攻>

		タイ語
理解する	読む	・公文書を含む書類や一般の書籍・新聞などを読んで内容を適切に理解することができる。 ・さまざまな文献から情報収集し、自分なりに分析できる。
	聞く	・相手の意図を正確に解釈し、誤解なく意思疎通できる。 ・会議など公式的な場で、発表や話し合いの内容を無理なく聞き取れる。
話す	やり取り	・場面や相手との関係性などを考慮し、発話状況に即した話し方ができる。
	発表	・明瞭な発音で、誤解を与えない話し方ができる。 ・面接や会議などの公式的な場で、論理的に発言できる。
書く		・公文書を含む書類や日常生活に必要な書類の文面をそれぞれの用途に応じて正確に書くことができる。 ・相手のことを配慮した書き方ができる。
検定等		チュラロンコン大学シリントン・タイ語研究所のタイ語能力試験(CUTFL)C1 を目指す CEFR B1-B2 レベル相当

<イベロアメリカ言語学科>

イベロアメリカ言語学科では、以下の能力と資質を身につけることを目的として編成された教育課程において、定められた卒業要件単位を取得した場合に、卒業を認定し、学位を授与する。本学科は、これらの能力を身につけ、専攻言語圏の歴史や文化や、社会に関する知識をもとに他者を深く理解し、実践的な言語運用能力を駆使し国際社会に貢献し得る自立した人材を育成することを目的とする。

(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」

①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー

②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養

(2)専攻言語の高度な運用能力及び国際社会の一員として求められる実践的な英語運用能力

①高度な語学運用能力に加え、専攻言語地域に関連する多岐にわたる教養、及び専攻言語そのものを多面的に考察し、その本質を理解する力

②地域・社会・世界との主体的な関わりにおいて、お互いを理解し合うためのコミュニケーションの基盤となる実践的な英語運用能力

③言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の外国語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。

<スペイン語、ブラジル・ポルトガル語>

卒業までに全員が CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1 レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同 B2 レベル相当に到達することを目標とする。

<英語(全専攻共通)>

卒業までに CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B1 レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同 B2 レベル相当以上に到達することを目標とする。

各技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。

(3)「専攻語及び専攻語圏をはじめとするイベロアメリカの歴史・文化・社会に関する専門知識」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」

①専攻言語が話される国・地域の歴史、文化、社会、政治、経済の特質を学ぶとともに、その多様性を尊重し、広い視野で共生のあり方を考察する力

②世界におけるイベロアメリカのあり方や役割を理解し、互いに協力しながら平和と繁栄に貢献する力

(4)「グローバル社会で専門性を発揮して活躍するための力」と、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」

①専門分野における学びを有機的に結びつけて体系的な知識を創出し、多角的な観点から諸事象を捉え、それをもとに批判的な議論ができる力

②探求心を持ち、今日の国際社会が直面する諸問題を自分で発見し、国際的な視野をもって解決に向けて主体的に行動できる力

③自身の資質や能力を継続的に発展させることにより、国際社会を舞台としたキャリアを自立的にデザインする力

(別表)技能別語学到達目標

<スペイン語専攻>

		スペイン語
理解する	読む	・スペイン語の新聞、エッセー、メール、ビジネス文書などを読み、理解することができる。 ・専門的なテーマも含め、抽象的ないし具体的な内容からなる複雑な文の趣旨を理解することができる。
	聞く	・テレビ、ラジオのニュースや番組内の会話を理解することができる。 ・日常的な事柄から大学の講義等の専門的な内容まで、地域的なバリエーションを含め、発話を理解することができる。
話す	やり取り	・時事問題や相手の関心事項に合わせた会話や討論ができる。 ・ディスカッションでは、多様な意見を尊重しつつ、積極的に意見交換をすることができる。
	発表	・自国を含めた世界の社会・文化について論理的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的及び言語使用場面に応じた発言ができる。
書く		・論文を書いたり、報告書や企画書を作成できるようになる。 ・個人的に関心のある話題や社会的・文化的な事柄について、反対意見や少数意見の長所と短所を示しつつ、論理的な文章を書くことができる。
検定等		DELE B1 以上、スペイン語技能検定3級以上を目指す CEFR B1-B2 レベル相当

<ブラジル・ポルトガル語専攻>

		ポルトガル語
理解する	読む	・ポルトガル語の新聞、エッセー、メール、ビジネス文書などを読み、理解することができる。 ・専門的なテーマも含め、抽象的ないし具体的な内容からなる複雑な文の趣旨を理解することができる。
	聞く	・テレビ、ラジオのニュースや番組内の会話を理解することができる。 ・日常的な事柄から大学の講義等の専門的な内容まで、地域的なバリエーションを含め、発話を理解することができる。
話す	やり取り	・時事問題や相手の関心事項に合わせた会話や討論ができる。 ・ディスカッションでは、多様な意見を尊重しつつ、積極的に意見交換をすることができる。
	発表	・自国を含めた世界の社会・文化について論理的なプレゼンテーションやスピーチができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的及び言語使用場面に応じた発言ができる。
書く		・論文を書いたり、報告書や企画書を作成できるようになる。 ・個人的に関心のある話題や社会的・文化的な事柄について、反対意見や少数意見の長所と短所を示しつつ、論理的な文章を書くことができる。
検定等		ブラジル教育省「外国人のためのポルトガル語検定試験」(中級)以上を目指す CEFR B1-B2 レベル相当

<国際コミュニケーション学科>

国際コミュニケーション学科では、以下の能力と資質を身につけることを目的として編成された教育課程において、定められた卒業要件単位を取得した場合に、卒業を認定し、学位を授与する。本学科は、これらの能力を身につけ、専攻言語圏の歴史や文化や、社会に関する知識をもとに他者を深く理解し、実践的な言語運用能力を駆使し国際社会に貢献し得る自立した人材を育成することを目的とする。

<p>(1)「より良い人生とより善き社会の実現に向けて、生涯学び続けることができる能力」と、「多様な学問領域にわたる幅広い教養」</p> <p>①大学での学びを効果的に機能させるための基本的なアカデミック・リテラシー</p> <p>②「成熟した市民」として生きるために必要な幅広い教養</p>	
<p>(2)高度な英語の運用能力</p> <p>①英語の4技能をバランス良く修得することで、相手の伝えたいことを理解し、自分の考えを伝える力</p> <p>②英語を使って文化的背景の異なる人々と意思の疎通ができる力</p> <p>③言語運用能力の到達目標は以下の通りとする。これは、基本的に本学科の英語の教育課程を確実に履修し単位を修得すれば到達できる目標と考える。</p> <p>・卒業までに全員がCEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)B2レベル相当に到達し、加えてより多くの学生が同C1レベル相当に到達することを目標とする。各技能及び検定等の到達目標は別表の通りとする。</p> <p>※留学生は英語に加えて日本語の4技能をバランス良く修得することで、相手の伝えたいことを理解し、自分の考えを伝える力を備えていること。</p>	
<p>(3)「多文化共生社会に求められるコミュニケーション能力及びグローバル社会の一員として世界に貢献するための教養と問題解決力」と、「異なる文化や価値観、社会の多様性を理解し尊重する姿勢」</p> <p>①国際関係、国際社会に関する知識や日本の歴史、文化、社会に関する知識を踏まえ、他者と自らの価値を理解し、国際社会の発展に貢献する力</p> <p>②幅広い教養を身につけ、様々なメディアを駆使し、国際社会における喫緊の話題に関して自らの考えをもって積極的に対話に参加し、問題解決に貢献する力</p>	
<p>(4)「グローバル社会において学修者自身及び他者のキャリア形成を構築し寄与する力」、「論理的かつ批判的な思考力」及び「社会的な課題の発見と解決に貢献する力」</p> <p>①国際理解の素養のもと、基本的ビジネスコミュニケーションが日英両語で運用できる力</p> <p>②相互理解の姿勢のもと、互恵の視座で課題解決に貢献する力</p> <p>③日々新たな情報を自らとらえ、行動と結びつけられる力</p>	

(別表)技能別語学到達目標

		英語
理解する	読む	<ul style="list-style-type: none"> 学術的なテキストや講義資料を読み、正確に理解することができる。 政治・経済・社会・文化・スポーツなど様々な分野の文章を読み、理解することができる。(国際コミュニケーション専攻) ビジネスを扱った文献及び時事をすすんで読み、理解することができる。(国際ビジネスキャリア専攻)
	聞く	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的で複雑な話題について、複数の情報を整理して、概要や要点を理解することができる。 政治・経済・社会・文化・スポーツなど日常的な話題について、話し手の意図を理解することができる。(国際コミュニケーション専攻) 体験就業などキャリア形成の場で所属長や顧客の意図を理解することができる。(国際ビジネスキャリア専攻)
話す	やり取り	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な話題について、相手の意見を尊重しながら論理的にやり取りをすることができる。 日常的な話題について、情報や考え、気持ちを積極的に相手と伝え合うことができる。
	発表	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な話題について、目的に応じて伝達・指導・説得する発表を論理的に展開することができる。 日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを明確・正確・簡潔に聞き手に伝えることができる。
書く		<ul style="list-style-type: none"> 大学の講義において、必要に応じて要点を明確・正確・簡潔に書いてまとめることができる。 抽象的で複雑な題目について、論理的文章を書くことができる。
検定		<p>TOEIC®L&R テスト 800点以上を目指す</p> <p>CEFER B2-C1レベル相当</p>